

令和3年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
一 学 期	4	ガイダンス 探究課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> 探究のプロセスを理解させる。研究の進め方の手順を理解する。 生徒の興味・関心に基づき、適切な進路課題を設定させる。 	次の観点に基づき、評価する。 (1) 適切な課題を設定している。自ら学び、主体的に課題を解決する資質や能力が高まっている。	4
	5	学習活動 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの進路課題に基づき、職業・上級学校・学部・学科・学問分野についての調査研究を行う。方法としては、学校図書館やインターネットの活用、フィールドワーク、自己表現の工夫、各分野の専門家による進路講演会など、多様な方法で取り組む。長期休業中や放課後を利用した活動が出来るように工夫する。 	(2) 長期休業中や放課後に積極的に調査・研究ができています。 (3) 学習活動に意欲的に取り組み、自己の在り方、生き方を考える素質が養われている。 (4) 自主的な学習により、学習成果が上がっている。	4
	6	進路講演会 情報収集			4
	7	自己評価 発表 情報収集			3 (5) 1年間の成果をまとめることができています。 毎回のレポート作成や観察、自己評価や相互評価により、生徒にどのような力が付いたか上記の観点から評価する。
二 学 期	9	学習活動 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中に自身の活動で得た成果を確認し、進路課題設定を行い、職業や上級学校・学部・学科・学問分野についての調査研究を引き続き行う。 		4
	10	学習活動 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> 5月6月と同様に、情報収集を含めて調査・研究を継続して行う。 		4
	11	情報収集			4
	12	整理・分析 自己評価 中間発表	<ul style="list-style-type: none"> 整理・分析を行いながら、評価計画に基づき自己評価し、卒業に向けて総まとめの準備に入る。高校での教育活動の意味及び自己の将来への関連性を理解する。 		4
三 学 期	1	学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 自己の具体的な進路と結びつけたかどうか、成果を確認しまとめ、発表する。 		3
	2	まとめ			1
	3	発表			
配当時間数の合計			キャリア教育を中心に据える。進路指導部と3学年が連携して行う。(15名)		35